

<特集「情報標示の諸要素」>

現代朝鮮語の情報表示の諸要素 Markers of information structure in Korean

黒島 規史・崔 正熙
Norifumi Kuroshima, Jeonghee Choi

東京外国語大学大学院総合国際学研究科
Doctoral Course, Graduate School of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies

要旨: 本稿は特集「情報表示の諸要素」(『語学研究所論集』第22号, 2017, 東京外国語大学)に寄与する。本稿の目的は25個のアンケート項目に対する朝鮮語データを与えることである。

Abstract: This report contributes to the special cross-linguistic study on ‘markers of informational structure’ (*Journal of the Institute of Language Research* 22, 2017, Tokyo University of Foreign Studies). The purpose of this paper is to offer the Korean data for the question of 25 phrases.

キーワード: 主語卓越型言語, とりたて表現, 不定表現, 情報のなわ張り

Keywords: subject-prominent language, emphasizing expression, indefinite expression, informational territory

1. はじめに

本稿では、特集「情報表示の諸要素」のアンケートに沿って、現代朝鮮語(以下、朝鮮語)の例文を提示し、それに適宜補足説明を加える。最後に朝鮮語のとりたて表現について簡単な考察を加える。

2. 朝鮮語データ

朝鮮語の情報表示の諸要素, 具体的には主題表示の軸項(1-2), とりたて表現(3-13), 不定表現(14-22), 情報のなわ張り理論(23-25)に関連する例について見ていく。例文の朝鮮語はハングル表記と, Yale式ラテン文字転写¹⁾にグロスを付して提示する。アンケートの日本語例文を朝鮮語で表したときに日本語とは違う表現を用いる場合, グロスの下にさらに「」を加え日本語訳を示す。

2.1. 主題卓越型類型論の軸項

(1) 【統語的に動詞の必須項ではない名詞の統語的軸項としての機能】

「この土地は野菜がよく育つ。だから高い値段で売れるだろう。」

이 땅{은/에서는} 채소가 잘 자란다. 그러니까 비싼 값에 팔릴 것이다.

i ttang{=un/=eyse=nun} chayso=ka cal cala-nta.

この 土地=TOP/=LOC=TOP 野菜=NOM よく 育つ-DECL.NPST

kulenikka pissa-n kaps=ey phalli-l kes-i-ta.

だから 高い-ADNC.NPST 値段=DAT 売れる-ADNC.IRR こと-COP-DECL.NPST



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed/ja>

¹⁾ ラテン文字転写には浅尾仁彦氏が作成した「ハングル→イェール式ローマ字変換」(<http://asaokitan.net/tools/hangul2yale/>)を利用した。ただし, 両唇音(p, pp, ph, m)に付くwuはuで表記せず, そのままwuで転写している。

ここの日本語例文を朝鮮語にすると, ttang=eyse=nun (土地=LOC=TOP) のように位格を入れたほうがより自然ではあるが, その場合軸項は「土地」とも「野菜」とも解釈しうる. 軸項を「土地」として解釈されるようにするには ttang=nun (土地=TOP) とするほうがよい.

(2) 【話し手のなわ張り内・聞き手のなわ張り外, 統語的軸項としての機能】

「私は頭が痛い. だから今日は休む。」

나 머리 아파. 그러니까 오늘 쉴 거야.

na meli apha. kulenikka onul swi-l ke-ya.
1SG 頭 痛い:DECL.NPST.NPOL だから 今日 休む-ADNC.IRR こと-COP:DECL.NPST.NPOL

日本語例文のように「私」「今日」に主題標識を付けることは可能だが, これを付けると対比の意味が出てしまうため, ここでは主題標識なしで例文を提示した. この場合も「私」は統語的軸項として機能する.

2.2. とりたて表現

朝鮮語においてとりたてを担うものは, 限定詞 (delimiter), 補助詞, あるいは特殊助詞などと呼ばれるが, その全てがとりたて的な意味を持っているわけではなく, あくまでも格を表す助詞以外の, 統語的な出現環境が比較的自由なものが含まれる. これらの範囲については韓国でも様々な論考があり, 論者によってなにを特殊助詞などに含めるかについては主張が異なる. 例えば, 代表的な研究である洪思満 (1983) は 16 個の特殊助詞を認めている.

(3) 【限定】

「あの**人**だけ, 時間通りに来た。」

저 사람**만** 제시간에 왔어.

ce salam=**man** ceysikan=ey w-ass-e.
あの 人=だけ 定時=DAT 来る -PST-DECL.NPST.NPOL

「限定」には基本的に =man が用いられる. 日本語と同様, 主格の後に限定のとりたて表現を付けて, =i/ka=man (=NOM=だけ) のように用いることはできない. ただ, 主格を後に付けて =man=i/ka (=だけ=NOM) とすることは可能である.

(4) 【限定・否定との共起】

「これはここで**しか**買えない。」

a. ?이건 여기서**밖에** 못 사.

?ike=n yeki=se=**pakkey** mos sa.
これ=TOP ここ=LOC=しか IMPS 買う:DECL.NPST.NPOL

b. 이건 여기(가) 아니면 못 사.

ike=n yeki(=ka) ani-myen mos sa.
これ=TOP ここ(=NOM) NCOP-ADVC.COND IMPS 買う:DECL.NPST.NPOL
「これはここでなければ買えない。」

c. 이걸 여기서**만** 살 수 있어.

ike=n yeki=se=**man** sa-l swu iss-e.
 これ=TOP ここ=LOC=だけ 買う-ADNC.IRR すべ ある-DECL.NPST.NPOL
 「これはここでだけ買える。」

日本語例文に対しては, 上記 (4a-c) のように 3通りの言い方ができる. 限定と否定の共起には (4a) のように (=)pakkey が用いられるが, この例文の場合はやや不自然であり, (4b) のように「ここでなければ」と条件形を使うか, (4c) のように (3) で見た =man を使う方が自然である. 一方, 次の (4d) のように (=)pakkey が主格の位置に来る場合は自然である.

d. 그 사람**밖에** 없다.

ku salam=**pakkey** eps-ta.
 その 人=しか いない-DECL.NPST
 「その人しかいない。」

(5) 【限定・多数】

「その家にいたのは子供**ばかり**だった。」

a. ?그 집에 있었던 건 아이(들)**뿐**이었다.

?ku cip=ey iss-ess-ten ke=n ai(=tul)=**ppwun**-i-ess-ta.
 その 家=DAT いる-PST-ADNC.IPFV もの=TOP 子供(=PL)=のみ-COP-PST-DECL

b. 그 집엔 아이(들)**만** 있었다.

ku cip=ey=n ai(=tul)=**man** iss-ess-ta.
 その 家=DAT=TOP 子供(=PL)=だけ いる-PST-DECL
 「その家には子供(たち)だけいた。」

日本語例文を直訳すると (5a) のように表すことも可能だが, 上でも見た =man を使って (5b) のように表現する方が自然な朝鮮語になる.

(6) 【限定・強調】

「次回**こそ**, 失敗ないようにしよう。」

a. ?다음에**야말로** 실패하지 않도록 해야지.

?taum=ey=**yamallo** silphayha-ci anh-tolok hay-yaci.
 次=DAT-こそ 失敗する-NMLZ NEG-ADVC.MNN する-OBLG

b. 다음에**는** 절대 실패하지 말아야지.

taum=ey=**nun** celtay silphayha-ci mal-ayaci
 次=DAT=TOP 絶対 失敗する-NMLZ やめる-OBLG

「こそ」のように限定の強調には -(i)yamallo が用いられるが, (6) の日本語例文に対する朝鮮語訳としては (6a) よりも (6b) のように主題標識で表した方が自然である. しかし, 次の (6c) のような文に

おいては「こそ」を **-(i)yamallo** で表すことができる。(4) でも見たように、朝鮮語と日本語では似たようなとりたて表現があるが、その統語的な性質が異なる。

c. **저야말로** 죄송합니다.

ce-yamallo coysongha-pnita.

1SG-こそ すまない-DECL.NPST.POL

「私(の方)こそすみません。」

(7) 【反限定・例示】

「疲れたね, お茶**でも**飲もう。」

a. 피곤하지. 차{**라도/나**} 마시자.

phikonha-ci. cha{**-lato/-na**} masi-ca.

疲れた-ASS お茶-でも/-でも 飲む-COHR

この例文においては「でも」は **-(i)lato** あるいは **-(i)na** で表すことができる。前者は日本語の「でも」に類似しているが、後者は対比される選択項目の中でもランクが下のものを選ぶというニュアンスがある。例えば次の例文 (7b) において, **-(i)lato** は「(わたしはお腹いっぱい食べられないが)せめておまえだけでも食べる」という状況で使えるが, **-(i)na** は聞き手をぞんざいに扱い, 「おまえが食べればいいだろ」というニュアンスがある。**-(i)na** は疑問詞に付くと, 「誰でも」「いつでも」のように, 自由選択の意味を表す。例については (20) を参照のこと。

b. 너{**라도/나**} 먹어.

ne{**-lato/-na**} mek-e.

2SG-でも/-でも 食べる-IMPR.NPOL

「せめておまえが食べろ／おまえが食べればいいだろ。」

(8) 【極端・意外】

「水**さえ**あれば, 数日間は大丈夫だ。」

a. 물**만** 있으면 며칠 동안은 괜찮아.

mwul=**man** iss-umyen myechil tongan=**un** kwaynchanh-a.

水=だけ ある-ADV.COND 数日 間=TOP 大丈夫だ-DECL.NPST.NPOL

「さえ」のように, ある尺度の小さい方に極端なものを表すとりたて表現には =cocha (8b) があるが, (8a) のように最低限のものを表す場合には用いることができず, (3), (4) で見た =man を用いる。(8b) のように, =cocha はしばしば否定とともに用いられる。

b. 자기 이름**조차** 한자로 못 쓴다.

caki ilum=**cocha** hanca=lo mos ssu-nta.

自分 名前=さえ 漢字=INST IMPS 書く-DECL.NPST

「自分の名前さえ(すら)漢字で書けない。」

(9) 【極端・意外】

「小さい子供まで, その仕事の手伝いをさせられた。」

a. 어린 아이들한테까지 그 일을 시켰다.

eli-n ai=tul=hanthey=**kkaci** ku il=ul sikhy-ess-ta.
 幼い-ADNC.NPST 子供=PL=DAT=まで その 仕事=ACC させる-PST-DECL

日本語の「まで」と同様, 朝鮮語の =kkaci は「(場所・時間) =kkaci」という格助詞の機能を持つこともあれば, この例のようにとりたて助詞として機能することもある。=kkaci の他に, ある尺度のなかで期待されない極端な例を示すととりたて表現としては =mace もあるが, この例文で =kkaci の代わりに使うと不自然になる。ただし, 次のような言い方は可能である。

b. 어린 아이들마저 그 일을 해야 했다.

eli-n ai=tul=**mace** ku il=ul hay-ya hay-ss-ta.
 幼い-ADNC.NPST 子供=PL=DAT=まで その 仕事=ACC する-OBLG する-PST-DECL
 「幼い子供たちまでその仕事をしなければならなかった。」

(10) 【反極端・低評価】

「私はお金なんか欲しくない。」

난 돈 따위(따윈) 원치 않아.

na=n ton ttawi(ttawi=**n**) wenchi anh-a.
 1SG=TOP お金 なんか(なんか=TOP) 望む:NMLZ NEG-DECL.NPST.NPOL

特に「反極端・低評価」を表すには日本語の「なんか」に似た ttawi を用いることができる。ttawi はとりたて助詞ではなく依存名詞である。

(11) 【反極端・最低限】

「自分の部屋ぐらい, 自分できれいにしなさい。」

자기 방 정도는 스스로 치우도록 해.

caki pang cengto=**nun** susulo chiwu-tolok hay.
 自分 部屋 程度=TOP 自分で 片付ける-ADVC.MNN する:IMPR.NPOL

「ぐらい」は cengto [程度] を使って表すことができるが, ここではさらに主題標識を付けて cengto=nun (程度=TOP) のように表す必要がある。

(12) 【類似・類似】

「私にもちょうだい。」

나한테도 줘.

na=hanthey=**to** cwe.
 1SG=DAT=も くれる:IMPR.NPOL

「類似」には日本語の「も」と類似した =to を用いることができる。

(13) 【反類似・対比 (疑問)】

「お父さんもう帰って来たね. お母さんは?」

아빠 벌써 오셨네. 엄마는?

appa pelsse o-sy-ess-ney. emma=**nun**?

お父さん もう 来る-HON-PST-ADM お母さん=TOP

この例では、日本語の「は」と似た機能を果たす主題標識の =un/nun を用いて表すことができる。

ここでの考察を踏まえて、アンケートにも挙がっていた野田 (2015: 84) を参考に、朝鮮語のとりたて表現を表 1 に整理しておこう。朝鮮語のとりたて表現として表 1 に含めたものの中には、韓国で特殊助詞などと呼ばれる一群の助詞には通常含まれないものもある。

表 1: 日本語と朝鮮語のとりたて表現

	日本語	朝鮮語		日本語	朝鮮語
限定	だけ ばかり しか こそ (特立)	=man 「だけ」 (=)pakkey (+ NEG) 「しか」 (=)ppwun 「のみ」 -(i)yamallo 「こそ」	反限定	でも (例示) も (柔らげ) なんか (例示)	-(i)lato 「でも」 -(i)na 「でも」
極端	まで (意外) さえ (意外) も (意外) でも (意外)	=kkaci 「まで」 =mace 「まで」 =cocha 「さえ」	反極端	なんて (低評価) ぐらい (最低限) こそ (譲歩)	ttawi 「なんか」 cengto(= nun) 「ぐらい(は)」
類似	も (類似)	=to 「も」	反類似	は (対比)	=un/nun 「は」

2.3. 不定表現

(14) 【特定既知 (specific known)】

「誰か (が) 電話してきたよ。」

a. 어떤 사람한테서 전화 왔어.

etten salam=hantheyse cenhwa w-ass-e.

ある 人=ABL 電話 来る-PST-DECL.NPOL

「ある人から電話が来たよ。」

b. 누가 (너한테) 전화했는데?

nwuka (ne=hanthey) cenhwahay-ss-nuntye?

誰:NOM (2SG=DAT) 電話する-PST-ADVC.AVS

「誰か (おまえに) 電話してきたぞ。」

(14b) の場合, nwuka は疑問詞としても機能するため, これに強勢が置かれる場合は疑問詞疑問文にもなりうる。

Haspelmath (1997: 313-5) では, specific known (14), specific unknown, irrealis non-specific (15), question

(16), conditional (17), indirect negation (18) の場合に朝鮮語は, 疑問詞あるいは疑問詞 + -nka が用いられるとしているが, 実際にはいつでも両者が使えるわけではない。

I Senwung (2000: 213) では, 次のような例文を挙げながら, 疑問詞 + -nka は対象が話者にとって未知であるときに用いられると指摘している。次の (14c) では, B が食べているものは不定であっても未知のものではない。

c. A: 야, 빨리 와.

ya, ppalli wa.
 おい はやく 来る:IMPR.NPOL

B: 지금 {뭐[?]뭔가} 먹고 있어. 한 시간쯤 이따가 갈게.²

cikum {mwe[?]mwe-nka} mek-ko iss-e.
 今 なに/なに-か 食べる-ADVC.SEQ いる-DECL.NPST.NPOL

han sikan-ccum ittaka ka-lkey.
 一 時間-くらい あとで 行く -PROM

「A: おい, はやく来いよ.

B: 今ご飯 (lit. なにか) 食べてるんだ. 一時間くらいあとで行くよ。」 (I Senwung 2000: 213)

上の B の発話では mwe 「なに (か)」はそのまま日本語にすることはできないが, 例えば nwukwu manna-ko iss-e. (誰 会う-ADVC.SEQ いる-DECL.NPST.NPOL) のような文では, 日本語は「人に会っている」のように総称名詞 (generic noun) である「人」を用いることができる。

しかし, I Senwung (2000: 213) は次の例文では, 対象は未知であるにも関わらず, 疑問詞と疑問詞 + -nka でその文法性に差異があり, その原因については不明だと述べている。

d. 지금도 {어딘가(가)[?]어디가} 개발되고 있다.

cikum=to {eti-nka(=ka)[?]eti=ka} kaypaltoy-ko iss-ta.
 今=も どこ-か(=NOM)/どこ=NOM 開発される-ADVC.SEQ いる-DECL.NPST
 「今もどこかが開発されている。」

e. 항상 {어딘가에서[?]어디에서} 전쟁이 일어난다.

hangsang {eti-nka=eysel[?]eti=eysel} cencaeyng=i ilena-nta.
 いつも どこ-か=LOC/どこ=LOC 戦争=NOM 起きる-DECL.NPST
 「いつもどこかで戦争が起きている。」

f. {어딘가[?]어디}부터 일이 잘못되기 시작했다.

{eti-nka[?]eti}=pwuthe il=i calmostoy-ki sicakhay-ss-ta.
 どこ-か/どこ=から こと=NOM 間違う-NMLZ 始まる-PST-DECL
 「どこからかうまくいかなくなり始めた。」

g. {어딘가(가)/어디가} 고장이 났다.

² ここで, 이따가 ittaka は있다가 isstaka が正しいと考えられるが, 原文のまま引用する。

{eti-nka(=ka)/eti=ka} kocang=i na-ss-ta.
 どこ-か=NOM/どこ=NOM 故障=NOM 出る-PST-DECL
 「どこかが故障した。」

(I, Senwung 2000: 215)

ただし、次の (14h) のように、疑問詞で表される内容が完全に想定できないようなときには疑問詞 + -nka のほうが自然になるようである。

h. 언젠가 좋은 일이 있을 거야.

encey-nka coh-un il=i iss-ul ke-ya.
 いつ-か よい-ADNC.NPST こと=NOM ある-ADNC.IRR こと-COP:DECL.NPST.NPOL
 「いつかいいことがあるだろう。」

(15) 【非現実不特定 (irrealis non-specific)】

「誰かに聞いてみよう。」

{누구^{??}누군가}한테 물어보자.

{nwukwu^{??}nwukwu-nka}=hanthey mwul-e po-ca.
 誰/誰-か=DAT 尋ねる-ADVC.SEQ 見る-COHR

(14) と同じく疑問詞の nwukwu が使われるが、-nka が付いた nwukwu-nka は不自然である。疑問詞 + -nka はどちらかという書き言葉的であり、そのため、この例文では不自然になると考えられる。以下、(16), (17) の例についても同様である。

(16) 【疑問 (question)】

「私のいない間に誰か来た?」

내가 없는 동안 {누가^{??}누군가} 왔었어?

nayka eps-nun tongan {nwuka^{??}nwukwu-nka} wa-ssess-e?
 1SG:NOM いない-ADNC.NPST 間 誰:NOM/誰-か 来る-PLPF-INTRR.NPOL

この例においても疑問詞の nwuka (nwukwu) が用いられ、nwukwu-nka は不自然である。

(17) 【条件節内 (conditional)】

「誰か来たら、私に教えてください。」

{누가^{??}누군가} 오면 저한테 알려 주세요.

{nwuka^{??}nwukwu-nka} o-myen ce=hanthey ally-e cwu-sey=yo.
 誰:NOM/誰-か 来る-ADVC.COND 1SG=DAT 知らせる-ADVC.SEQ くれる-HON:IMPR=POL

この例は (15), (16) の例と比べると nwukwu-nka の使用はやや不自然という程度である。これは (17) が (15), (16) の例文と比べると「誰か」を想定しにくいためだと考えられる。

(18) 【間接 (全部) 否定 (indirect negation)】

「今日は誰も来るとは思わない。 / 今日は誰も来ないと思う。」

a. 오늘은 아무도 안 올 것 같아.

onul=un amwu=to an o-l kes kath-a.
 今日=TOP 誰=も NEG 来る-ADNC.IRR こと 同じだ-DECL.NPST.NPOL

b. 오늘은 누가 올 것 같진 않아.

onul=un nwuka o-l kes kath-ci=n anh-a.
 今日=TOP 誰:NOM 来る-ADNC.IRR こと 同じだ-NMLZ=TOP NEG-DECL.NPST.NPOL
 「今日は誰かが来そうではない。」

朝鮮語は (18a) に見るように否定の場合は通常の疑問詞とは違う系統の語を用いる. (18b) のように疑問詞を用いることも可能だが, 通常は (18a) を用いる.

(19) 【直接 (全部) 否定 (direct negation)】

「そこには今誰もいないよ。」

a. 거긴 지금 아무도 없어.

keki=n cikum amwu=to eps-e.
 そこ=TOP 今 誰=も いない-DECL.NPST.NPOL

(18) の例と同様に, amwu=to が用いられる. 例文は少し変わるが, (19b) に示したとおり日本語の「誰ひとり」のようにして全部否定を表すこともできる. また, (19c) のように「その誰も」ということで全部否定を表すこともある.

b. 누구 하나 제대로 아는 사람이 없어.

nwukwu hana ceytaylo a-nun salam=i eps-e.
 誰 ひとつきちんと知る-ADNC.NPST 人=NOM いない-DECL.NPST.NPOL
 「誰ひとりちゃんと知っている人がいない。」

c. 그 누구도 부정할 수 없다.

ku nwukwu=to pwucengha-l swu eps-ta.
 その 誰=も 否定する-ADNC.IRR すべ ない-DECL.NPST
 「誰ひとりとして否定することはできない。」

(20) 【自由選択 (free-choice)】

「(それは) 誰でもできる。」

a. (그건) 누구나 (다) 할 수 있어.

(kuke=n) nwukwu-na (ta) ha-l swu iss-e.
 それ=TOP 誰-でも みんな する-ADNC.IRR すべ ある-DECL.NPST.NPOL

b. (그건) 누구든(지) 할 수 있어.

(kuke=n) nwukwu-tun(ci) ha-l swu iss-e.
 それ=TOP 誰-でも する-ADNC.IRR すべ ある-DECL.NPST.NPOL

この例では, Haspelmath (1997: 313-315) も挙げているように, -(i)na あるいは -(i)tunci を用いる. 前

者については (7) でも扱った. -(i)tunci は縮約形として -(i)tun もある.

-(i)na と -(i)tunci の違いは, 次のように説明できる. nwukwu-na の後に ta 「みんな」が付くとより自然になることからわかるように, nwukwu-na は不特定の成員全てを指し, nwukwu-tunci は次の (20c) のように, A, B, C と候補を分けることができ, 特定の成員を指す.

c. 그런 건 너(나), 엄마(나), 아빠(나), 누구든지 알 수 있는 거잖아.

kule-n ke=n ne(-na), emma(-na), appa(-na),
そうだ-ADNC.NPST もの=TOP 2SG(-でも) お母さん(-でも) お父さん(-でも)

nwukwu-tunci a-l swu iss-nun ke-canh-a.
誰-でも 知る-ADNC.IRR すべ ある-ADNC.NPST こと-NEG-DECL.NPST.NPOL

「そんなのはおまえだって, お母さんだって, お父さんだって, 誰だってわかることじゃないか。」

また, 次のような例文の対比からも nwukwu-na と nwukwu-tunci の違いがわかる. つまり, (19d) では成員は特定の学生たちであるため, nwukwu-tunci が自然であり, (19e) のような一般論を語るときには不特定のため nwukwu-na が自然である.

d. (教室で何人かの学生がいる状況で, 教師が)

의견을 말해 보세요. {?누구나/누구든(지)} 좋습니다.

uykyen=ul malhay po-sey=yo.
意見=ACC 言う:ADVC.SEQ 見る-HON:IMPR=POL

{?nwukwu-na/nwukwu-tun(ci)} coh-supnita.
誰-でも/誰-でも よい-DECL.NPST.POL

「意見を言ってみてください. 誰でもいいです。」

e. {누구나/?누구든(지)} 비밀은 있다.

{nwukwu-na/?nwukwu-tun(ci)} pimil=un iss-ta.
誰-でも/誰-でも 秘密=TOP ある-DECL.NPST

「誰にでも秘密がある。」

ところで, (20a), (20b) はどちらも能力可能, 状況可能の解釈ができるが, 実際は -(i)tunci のほうが状況可能と用いる場合はより自然になることが多いようである. この点については今後さらに検討が必要である.

(21) 【自由選択を示す「みんな」】

「そんなこと (は), **みんな**知っているんじゃないか! ?」

a. 그런 건 누구나 (다) 알잖아!?

kule-n ke=n **nwukwu-na** (ta) al-canh-a!?
そうだ-ADNC.NPST こと=TOP 誰-でも **みんな** 知る-NEG-INTRR.NPST.NPOL

b. 그런 건 누구든(지) 알잖아!?

kule-n ke=n **nwukwu-tun(ci)** al-canh-a!?
そうだ-ADNC.NPST こと=TOP 誰-でも 知る-NEG-INTRR.NPST.NPOL

ここで提示されているような例において, 自由選択を表す場合には「みんな」を意味する *ta* を使用すると不自然となる. ここでは (20) で見た *nwukwu-na* と *nwukwu-tunci* を用いている. *nwukwu-na* と *nwukwu-tunci* の違いは, (20) で述べたとおり, 不特定の成員を指すか, 個別の成員を指すかという点にある.

(22) 【反語】

「そんなもの, **誰**が買うんだよ! ? 誰も買うわけじゃないか!

그런 걸 누가 사겠어!? 아무도 안 살걸?

kule-n ke=l nwuka sa-keyss-e!?

そうだ-ADNC.NPST こと=ACC 誰:NOM 買う-PROB-INTRR.NPOL

amwu=to an sa-lkel?

誰=も NEG 買う-INFER

この例文においてもやはり, 1 文目では日本語と同じく疑問詞の *nwuka* を用いることができる. 蓋然性を表す *-keyss-* はなくともよい.

2.4. なわ張り理論

情報のなわ張り理論を援用した研究としては Ikharasi (2000) や平 (2004) がある. Ikharasi (2000) は連結語尾の一つである *-nikka* (～から) と終結語尾 *-ci* の共起関係に注目し, 従属節と主節で表される情報が, 両方話し手のなわ張り内にあるときに, 共起関係が実現すると指摘している. 平 (2004) では終結語尾の一つである *-ci* を分析し, 「話し手にとってなわ張りの外に属する情報, 聞き手にとってなわ張り内に属する情報の場合には叙述形の *-ci* が使用されない」ということを明らかにしている.

(23) 【話し手のなわ張り内・聞き手のなわ張り内】

「君は英語がうまいね。」

너 영어 {잘하는구나/잘하네}.

ne yenge {calha-nunkwuna/calha-ney}.

2SG 英語 上手だ-ADM/上手だ-ADM

ここでは終結語尾の *-kwuna* あるいは *-ney* を用いることができる. 前者は「知覚・推論によって得た情報を新たに知る」ことを表し, 後者は「現在の知覚から得た情報を新たに知る」ことを表す (Pak 2006: 223-233). これらの終結語尾については黒島・崔 (2016: 223-4) でも扱った.

(24) 【話し手のなわ張り外・聞き手のなわ張り内】

「君は退屈そうだね。」

a. 너 지루하구나.

ne cilwuha-kwuna.

2SG 退屈だ-ADM

b. 너 지루한가 보네.

ne cilwuha-nka po-ney.

2SG 退屈だ-みたいだ-ADM

この例文の場合、(23) のところでも述べたように、終結語尾の *-kwuna* は推論から得た情報を新たに知ることを表せるので、「間接形」を用いずとも (24a) のように表すこともできる。(24b) は日本語の「みたいだ」のように証拠性の意味を持つ *-na/nka po-ta* に (23) で見た終結語尾の *-ney* が付いた例である。

(25) 【話し手のなわ張り外・聞き手のなわ張り外】

「明日も寒いらしいよ。」

a. 내일도 춥대.

nayil=to chwup-tay.
 明日=も 寒い-QUOT. NPST.NPOL

b. 내일도 춥다나 봐.

nayil=to chwup-ta-na pwa.
 明日=も 寒い-QUOT-みたいだ.NPST.NPOL

「話し手のなわ張り外・聞き手のなわ張り外」の場合は「間接形」が用いられ、ここでは二通りの言い方を提示してある。(25b) は引用形にさらに (24b) と同じ *-na/nka po-ta* が用いられている。

3. 朝鮮語のとりたて表現

ここでは本稿のアンケート例文の結果と、野田 (2015) の議論を基に、朝鮮語のとりたて表現に簡単な考察を加える。まずは表 1 で示した日本語と朝鮮語のとりたて表現から朝鮮語の部分だけを抜き出し、さらに朝鮮語のとりたて表現として考えられるものを追加し、表 2 として示しておこう。朝鮮語で下線を引いたものは、本稿のアンケートで扱ったとりたて表現である。

表 2：朝鮮語のとりたて表現

	朝鮮語		朝鮮語
限定	<u>=man</u> 「だけ」 (=)pakkey (+ NEG) 「しか」 (=)ppwun 「のみ」 -(i)ya 「こそ」 -(i)yamallo 「こそ」	反限定	<u>-(i)lato</u> 「でも」 <u>-(i)na</u> 「でも」 <u>-(i)tunci</u> 「でも」 =to 「も」
極端	<u>=kkaci</u> 「まで」 =mace 「まで」 =cocha 「さえ」 =to 「も」 (=un/nun)=khenyeng 「はおろか」 数量表現 + -(i)na 「(数量) も」	反極端	<u>ttawi</u> 「なんか」 <u>cengto(=nun)</u> 「ぐらい(は)」 -(i)nama 「だけでも」
類似	<u>=to</u> 「も」	反類似	<u>=un/nun</u> 「は」

野田 (2015: 95) は表 2 にもある「限定—反限定」「極端—反極端」「類似—反類似」の関係を次の図 1 のように説明している。

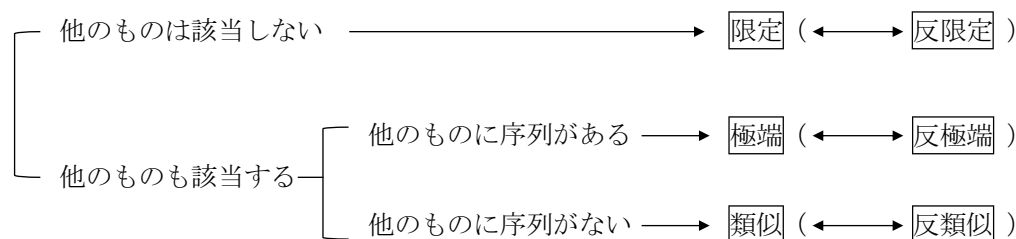


図1: とりたて表現の意味体系における3系列の関係 (野田 2015: 95)

野田 (2015: 96) はこの図1について, 「限定」「極端」「類似」のとりたて表現だけを考えれば, このように互いにはっきりとした意味の対立があり, それぞれが別の意味を表している. そのため, これらのとりたて表現はそれを使う必要性が強いことが多く, 日本語でもスペイン語でも同じように使われるのだと考えられる」と述べている. 朝鮮語のとりたて表現について見てみると, 表2の左の列の「限定」「極端」「類似」を表す要素は, 形態的な特徴が異なることがわかる. つまり, 左の列には基本的に接語の類が多く, 右の列はコピュラ *-i(ta)* を介した表現や依存名詞の類が多い.

さらに野田 (2015: 96) は図1で括弧に入った「反限定」等と「限定」等の関係について, 「反限定」は「他のものも該当する」という点で「極端」「類似」と同じになり, 「反極端」「反類似」は「他のものは該当しない」という点で「限定」と同じになる」と指摘している. この指摘について, *=to* は「反限定」と「極端」「類似」に分布し, たしかに「反限定」は「他のものも該当する」という点で「極端」「類似」と同じ」という野田 (2015: 96)の指摘は的を射ているようである. これは日本語の「も」にも当てはまる.

このようなカテゴリ間の類似に関して, もう一つ指摘しておきたい. (10) で見た *ttawi* 「なんか」はとりたて表現としても用いられるが, *alkhool ttawi=uy aykchey* 「アルコールなどの液体」のように, 例示の「など」という意味でも用いられ, 「反極端」「反限定」の間に連続性が見られる. 日本語の「なんか」も例示としての用法もあれば, 「反極端」の低評価の用法もあると考えられる.

4. まとめと今後の課題

本稿では朝鮮語の情報表示の諸要素について, 特集「情報表示の諸要素」のアンケートに従って考察した. 特に朝鮮語のとりたて要素についてさらにアンケートで得られた結果以外の要素も追加したうえで整理し, カテゴリ間の類似について指摘した.

朝鮮語と日本語のとりたて表現の対照研究については, 洪思満 (1979a-1983) の一連の研究があるものの, その他はある個別の形式同士の対照が主であり, 体系的な研究はなされていない. 今後は日本語と朝鮮語のとりたて要素について, どのような要素をとりたてられるか, 主節に文法的制約があるか等, 様々な観点から体系的に考察が進められるべきであろう.

略号一覧

ABL	Ablative	奪格	N-	non-	非-
ACC	Accusative	対格	NCOP	negative copula	指定詞 (否定)
ADM	Admirative	詠嘆	NEG	negation	否定
ADNC	adnominal clause	連体節	NMLZ	nominalizer	名詞化
ADVC	adverbial clause	連用節	NOM	nominative	主格
ASS	Assertive	確言	OBLG	obligation	義務
AVS	Adversative	逆接	PL	plural	複数
COHR	Cohortative	勧誘	PLPF	pluperfect	大過去
COND	Conditional	条件形	POL	polite	丁寧
COP	Copula	指定詞	PROB	probability	蓋然性
DAT	dative(-locative)	与(位)格	PROM	promissive	約束法
DECL	Declarative	叙述	PST	past	過去
HON	Honorific	尊敬	QUOT	quotative	引用
IMPR	Imperative	命令	SEQ	sequential	継起
IMPS	Impossible	不可能	SG	single	単数
INFER	Inferential	推量	TOP	topic	主題
INTRR	Interrogative	疑問	1		一人称
IPFV	Imperfective	未完了	2		二人称
IRR	Irrealis	非現実	-		接辞境界
LOC	Locative	位格	=		接語境界
MNN	Manner	様態			

参考文献

朝鮮語で書かれた文献

洪思満. 1983. “國語特殊助詞論”. Seoul: 學文社.

Ikhalasi, Koichi. [五十嵐孔一] 2000. ‘Yenkyelemiwa congkyelemiuy hounkwankyeyey tayhaye —{-(u)nikka}lul cwungsimulo—’ [連結語尾と終結語尾の呼応関係について—{-(u)nikka}を中心に—], “hyengthaylon” 2(2): 289-305. pakuyceng.

I, Senwung. 2000. ‘uymwunsa + (i)- + -nka’ kwusenguy pwuceng (不定) phyohyeny tayhaye’ [‘疑問詞 + (i)- + -nka’ 構文の不定表現について], “kwukehak” [国語学] 36: 191-219. kwukehakhoy [国語学会].

Pak, Cayyen. 2006. “hankwuke yangthay emi yenkwu” [韓国語様態語尾の研究]. kyengkito: thayhaksa.

日本語で書かれた文献

黒島規史・崔正熙. 2016. 「朝鮮語の情報構造と名詞述語文」『語学研究所論集』 21: 213-226. 東京外国語大学語学研究所.

平香織. 2004. 「終結語尾 ‘-시’ (-ci) の意味と用法：情報のなわ張り理論の観点から」佐藤滋・堀江薫・中村涉 (編)『対照言語学の新展開』 279-296. 東京：ひつじ書房.

- 野田尚史. 2015. 「日本語とスペイン語のとりたて表現の意味体系」『日本語文法』15(2): 82-97. 日本語文法学会.
- 洪思満. 1979a. 「日本語の副助詞と韓国語の特殊助詞との対照研究 (I) —その副詞的修飾機能を中心に—」『外国人と日本語』4: 93-113. 筑波大学文芸・言語学系内外国人に対する日本語教育プロジェクト.
- 洪思満. 1979b. 「日本語の副助詞と韓国語の特殊助詞との対照研究 (II) —その接続機能を中心に—」『朝鮮学報』90: 1-22. 朝鮮学会.
- 洪思満. 1982. 「韓国語の特殊助詞と日本語の副助詞との対照研究 (III) —‘極端例示’ 語類の意味分析を中心に—」, “enekwahakyenkwu” [言語科学研究] 2: 115-133. enekwahakhoy [言語科学会].
- 洪思満. 1983. 「韓国語の特殊助詞と日本語の副助詞との対照研究 (IV) —{man}と{だけ}の意味機能対比—」, “enekwahakyenkwu” [言語科学研究] 3: 307-327. enekwahakhoy [言語科学会].

英語で書かれた文献

Haspelmath, Martin. 1997. *Indefinite Pronouns*. Oxford: Oxford University Press.

執筆者連絡先 : norifumi.964ma@gmail.com (黒島規史) , minami7709@yahoo.co.jp (崔正熙)